



自治医科大学
Jichi Medical University

看護師の特定行為研修の修了者の 活動状況に関する研究

— 厚生労働科学特別研究事業 —

自治医科大学看護学部
春山早苗
平成29年3月2日

研究組織

研究代表者	永井良三（自治医科大学 学長）
研究分担者	春山早苗（自治医科大学看護学部 学部長）
研究協力者	釜菴敏（公益社団法人日本医師会 常任理事）
	洪愛子（公益社団法人日本看護協会 常任理事）
	太田秀樹（医療法人アスムス 理事長）
	神野正博（公益社団法人全日本病院協会 副会長）
	矢野諭（一般社団法人日本慢性期医療協会 常任理事）
	鈴木龍太（一般社団法人日本慢性期医療協会 理事）
	江村正（佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター 副センター長）
	藤内美保（大分県立看護科学大学看護学部 学部長）
	大塚真理子（宮城大学看護学部 教授）
	村上礼子（自治医科大学看護師特定行為研修センター 教授）
	鈴木美津江（自治医科大学看護師特定行為研修センター 専任教員）
	中村剛史（自治医科大学医学部地域医療学センター 講師）
	八木街子（自治医科大学看護学部 講師）
	関山友子（自治医科大学看護学部 講師）
	江角伸吾（自治医科大学看護学部 助教）

看護師の特定行為研修の修了者の活動状況に関する調査

■調査目的

特定行為研修を修了した看護師が実際に医療現場等においてどのように働いているか、また現状の課題は何かについて把握し、今後の修了者の活躍推進と制度の見直し等の際の基礎資料を得る

■調査対象

以下のいずれかの方法で把握した、平成28年2月までに指定された21の指定研修機関の**特定行為研修修了者**（大学院を修了し研修受講を免除された看護師を含む）、**修了者が所属する施設の管理者、修了者所属する部署の管理者**

<把握方法>

- ・ 修了者の活動場所を指定研修機関のホームページで把握する
- ・ 指定研修機関より、修了者の活動場所とそこで活動する修了者数の情報を提供いただく
- ・ 指定研修機関より修了者数の情報を提供いただく（研修機関より調査票送付）

■ 調査項目

＜特定行為研修修了者＞

- ・ 所属施設及び修了者の概要
- ・ 修了した研修の概要
- ・ 研修修了後の特定行為研修の実施状況
- ・ 研修修了後のチーム医療の状況
- ・ 研修修了後の活動上の課題
- ・ 特定行為研修を受けたことにより、勤務の中で感じる変化 等

＜修了者が所属する施設の管理者＞

- ・ 所属施設及び施設管理者の概要
- ・ 修了者に関すること：修了者数、修了者の配置形態や組織体制、処遇の変更の有無、修了者の活動に対する支援、修了者への期待、修了者の活動に関する課題
- ・ 施設内における「看護師の特定行為研修制度」の認知度と認知度を高めるための取組 等

＜修了者が所属する部署の管理者＞

- ・ 所属施設及び部署管理者の概要
- ・ 修了者に関すること：修了者数、修了者の活動に対する支援、修了者への期待、修了者の活動に関する課題



■調査期間

平成28年12月2日～平成29年2月13日

■調査対象数及び回収数（％）

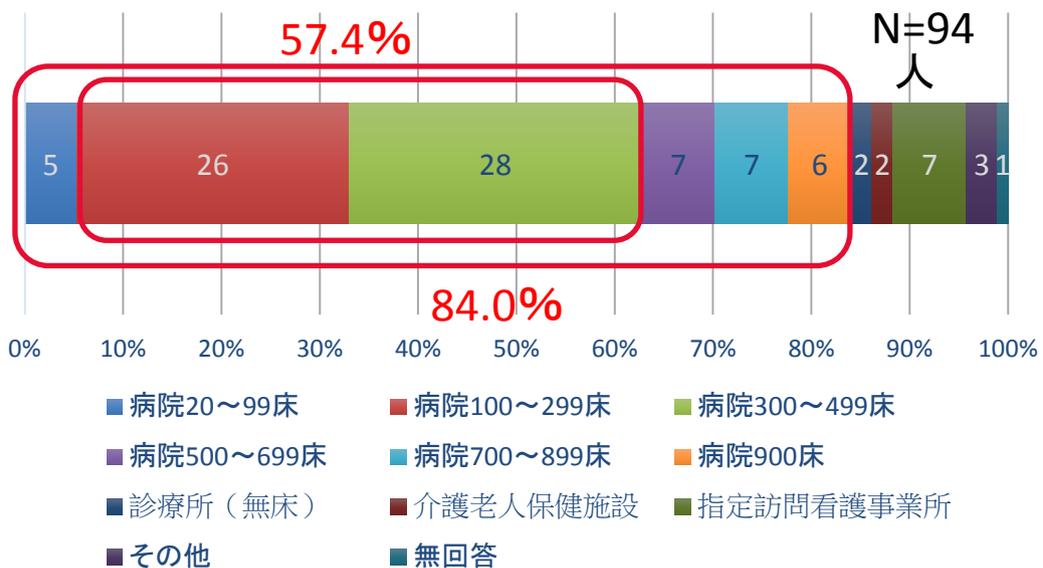
21の指定研修機関のうち、5機関は修了生なし。残る16機関のうち、14機関から協力が得られた。

	指定研修機関	修了者	施設管理者	部署管理者
配付数	①大学院	86	67	86
	②認定看護師教育機関	36	33	36
	①、②以外	82	64	82
	計	204	164	204*
回収数		94	70	56
回収率		46.1	42.7	27.5

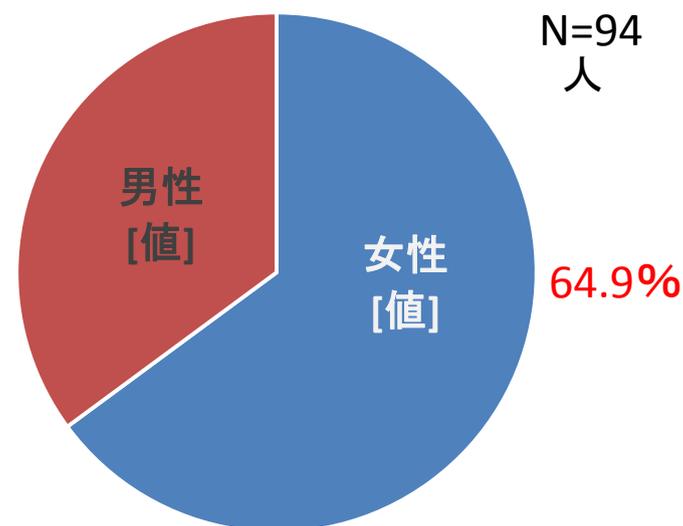
* 部署管理者の配付数については、1人の修了者につき、1人の部署管理者として配付。1部署に複数の修了者がいるなど、実際には204よりも少ない対象数であったと考えられる。

特定行為研修修了者についての結果

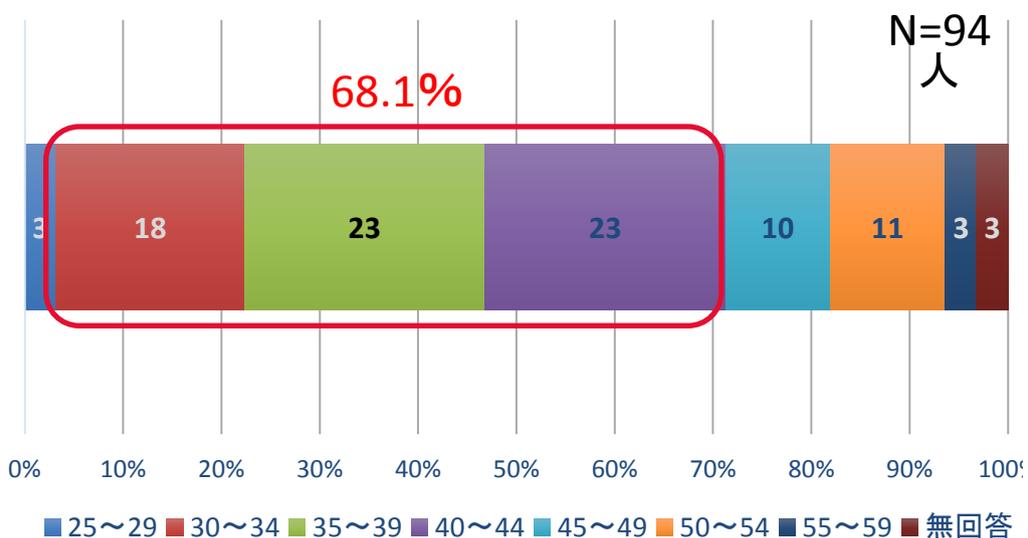
所属施設



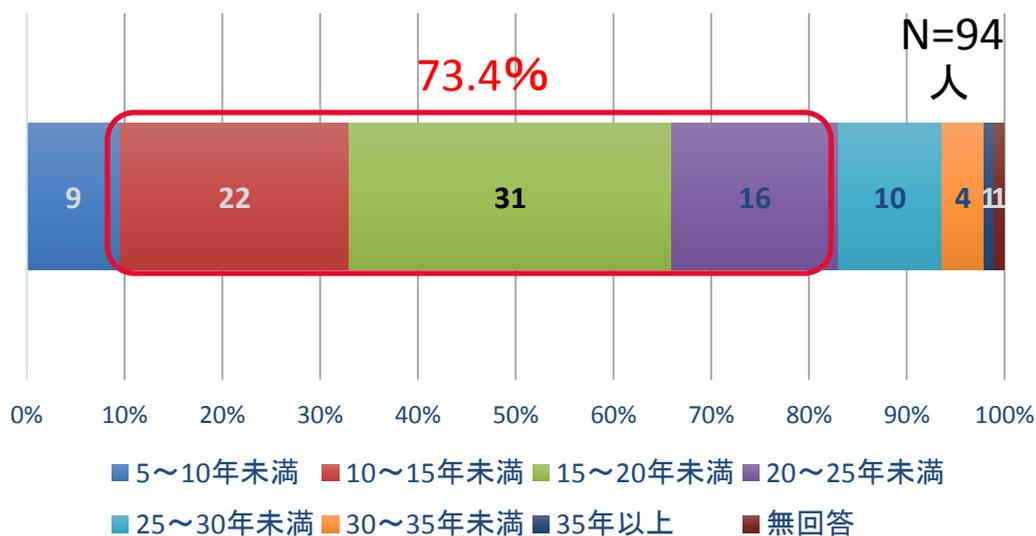
性別



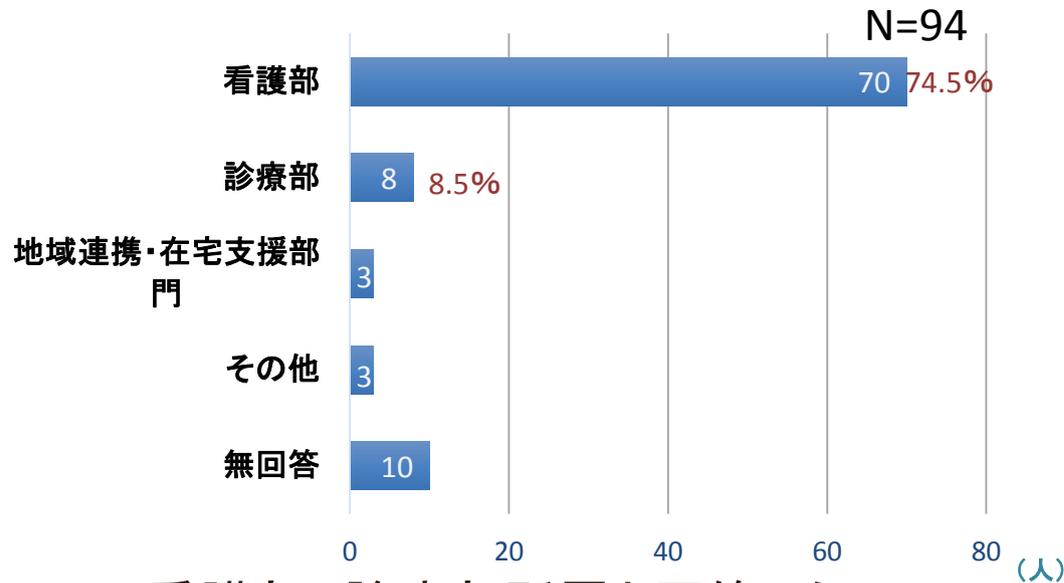
年齢



看護師経験年数



所属部署

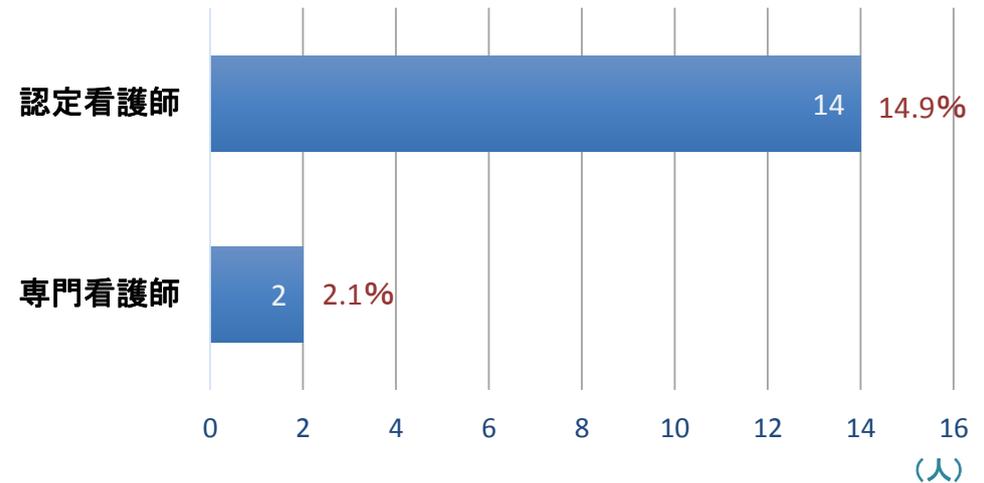


看護部、診療部所属と回答した看護師の具体的な部署 (N=78)

部署	人	%	部署	人	%
救急部署(外来含)	9	11.5	地域包括ケア病棟	2	2.6
ICU・CCU	8	10.3	身体障害者病棟	2	2.6
内科系(呼・循等)	6	7.7	外来	2	2.6
療養病棟	6	7.7	訪問診療・在宅部署	2	2.6
手術室	5	6.4	教育研修部署	2	2.6
透析部署	4	5.1	その他*	14	17.9
外科系(心外等)	3	3.8	無回答	8	10.3
内科・外科(循等)	3	3.8			
小児部署	2	2.6			

* その他: けい室・麻酔・救急・総合診療、精神科急性期病棟、回復期病棟、緩和ケア、臨床工学部署、横断的活動、等

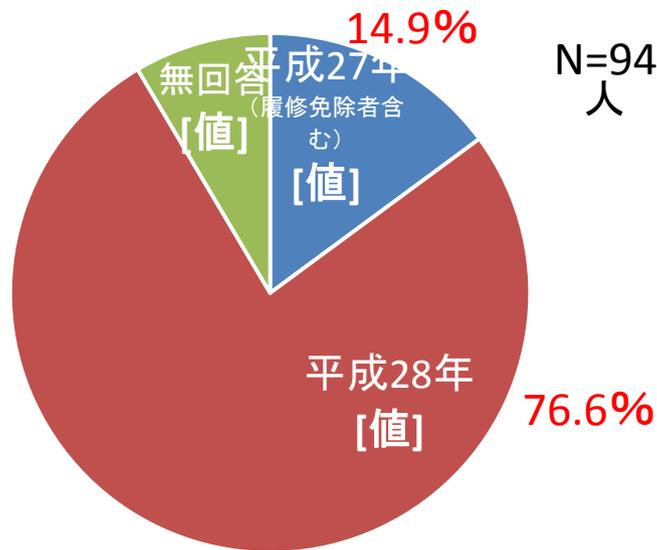
認定看護師・専門看護師の有無



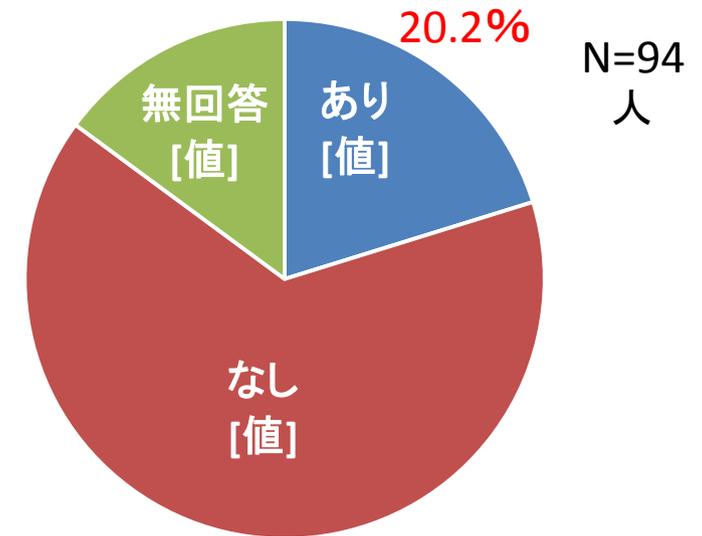
認定看護師・専門看護師の専門分野

	専門分野
認定看護師	皮膚・排泄ケア(4) 集中ケア(4) 救急看護(3) 慢性呼吸器疾患看護(1) がん性疼痛看護(1) 訪問看護(1)
専門看護師	慢性疾患看護(2)

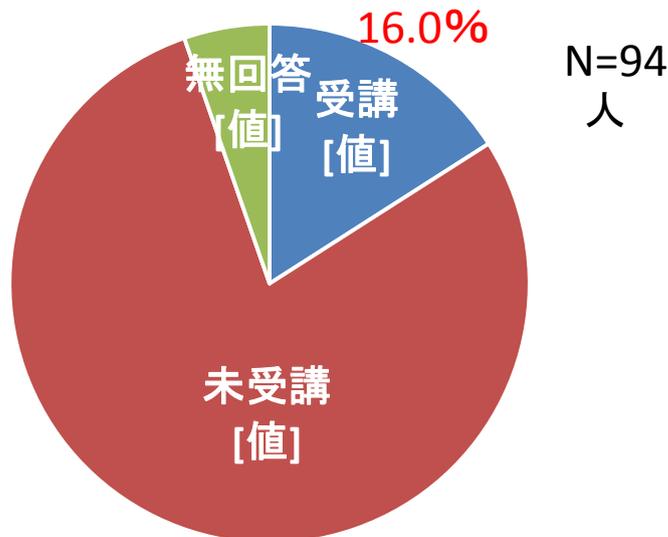
研修修了年



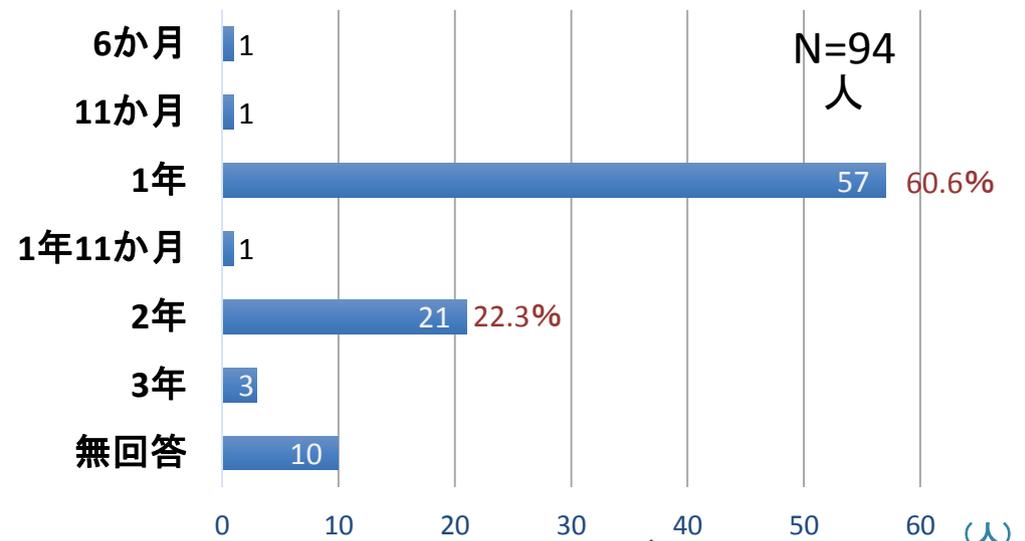
履修免除の適応の有無



特定看護師(仮称)養成調査事業・特定能力養成調査試行事業による研修受講の有無

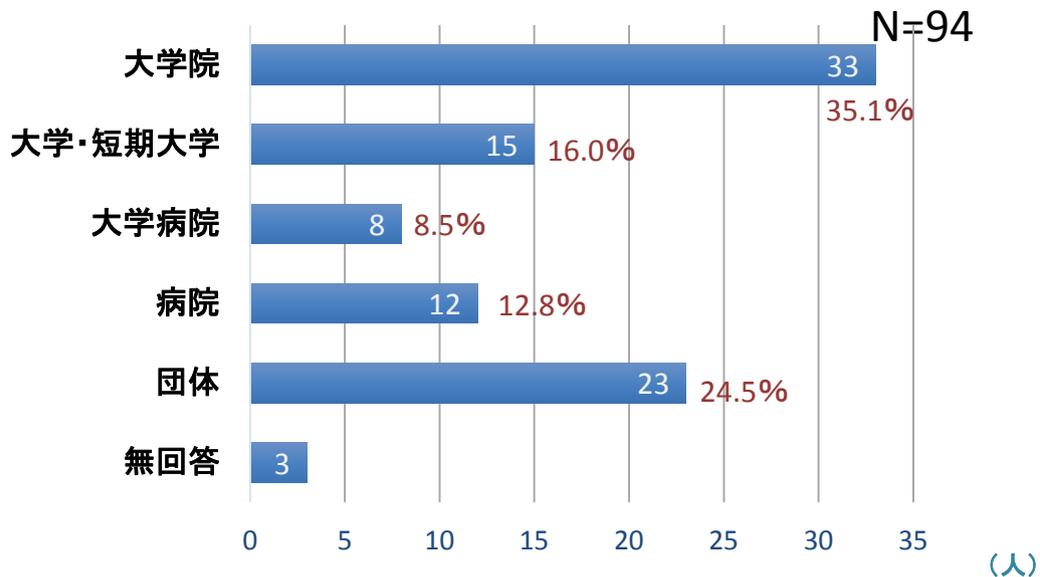


受講研修の期間



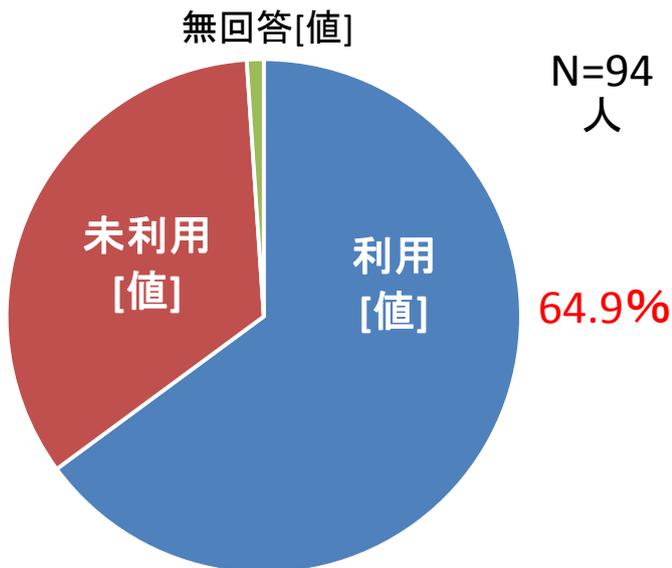
受講した指定研修機関の属性

特定行為研修の実習場所



	人	%
実習のすべてを現在勤務する施設で行った	24	25.5
実習の一部を現在勤務する施設で行った	29	30.9
実習のすべてを他の施設で行った	41	43.6
合計	94	100.0

研修でのeラーニングの利用



< 特定行為研修修了後の特定行為実施状況 >

特定行為区分			受講数	%	過去1月実施有り	%	インシデント	%
呼吸器関連	気道確保に係わるもの	経口用気管チューブ又経鼻用気管チューブの調整	50	53.2	10	20.0		
	人工呼吸療法に係るもの	侵襲的陽圧換気の設定の変更	73	77.7	17	23.3		
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更			11	15.1		
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整			10	13.7		
		人工呼吸器からの離脱			12	16.4		
長期呼吸療法に係るもの	気管カニューレの交換	66	70.2	27	40.9	1	1.5	
循環器関連	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	35	37.2	1	2.9		
		一時的ペースメーカーリードの抜去			3	8.6		
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理						
		大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整						
心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去	32	34.0	2	6.3			
胸腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	31	33.0	4	12.9		
		胸腔ドレーンの抜去			8	25.8		
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	31	33.0	4	12.9			
ろう孔管理関連	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	40	42.6	11	27.5		
		膀胱ろうカテーテルの交換			5	12.5		
栄養	中心静脈カテーテル管理	中心静脈カテーテルの抜去	44	46.8	13	29.5		
	末梢留置型中心静脈注射用	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	39	41.5	14	35.9	1	2.6
創傷管理関連	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	68	72.3	19	27.9		
		創傷に対する陰圧閉鎖療法			9	13.2		
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	35	37.2	8	22.9			
動脈血液ガス分析関連	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	51	54.3	25	49.0		
		橈骨動脈ラインの確保			5	9.8		
透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	34	36.2	3	8.8			
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	66	70.2	14	21.2		
		脱水症状に対する輸液による補正			19	28.8		
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	60	63.8	15	25.0			
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	58	61.7	14	24.1	1	1.7	
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	34	36.2	1	2.9			
循環動態に係る薬剤投与関連	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	43	45.7	6	14.0		
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整			7	16.3		
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整			6	14.0		
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整			9	20.9		
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整			5	11.6		
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	60	63.8	5	8.3		
		抗精神病薬の臨時の投与			8	13.3		
		抗不安薬の臨時の投与			8	13.3		
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	抗痙攣剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	35	37.2					

インシデントの内容

特定行為	内 容
末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	内容: PICC留置しレントゲンで先端位置確認したところ、頸静脈に迷入したため、位置調整を行った。 発生場所: 病院・病棟 患者情報: 40歳代、入院 2回目の特定行為 影響レベル2(処置や治療は行わなかった)
インスリンの投与量の調整	内容: インスリン過少投与 発生場所: 病院・病棟 患者情報: 80歳代、入院 影響レベル1(患者への実害はなかった)
気管カニューレの交換	内容: 交換カニューレの物品間違い 発生場所: 病院・病棟 患者情報: 60歳代、入院 170回目の特定行為 影響レベル3(処置や治療を要した)

区分別科目の修了状況

指定研修 機関属性	気道 確保	人工呼吸 療法	長期 呼吸法	循環 器	心臓ド レーン	胸腔ド レーン	腹腔ド レーン	ろう孔	CVカ テ	PICC カテ	創傷	創部ド レーン	動脈 血液ガ ス分析	透析	栄養/ 水分 薬剤	感染	血糖	術後 疼痛	循環 動態 薬剤	精神・ 神経 薬剤	皮膚 損傷	
院2																						
院3																						
院4																						
院5																						
院6																						
院7																						
院8																						
院9																						
院10																						
院11																						
院12																						
院13																						
院14																						
院15																						
院16																						
院17																						
院18																						
院19																						
院20																						
院21																						
院22																						
院23																						
院24																						
院25																						
院26																						
院27																						
院28																						
院29																						
院30																						
院1																						
院2																						
院1																						
院2																						
院3																						
院1																						
院2																						
院3																						
院4																						
院5																						
院6																						
院7																						
院8																						
院9																						
院10																						
院11																						
院12																						
院13																						
院14																						
院15																						
院16																						
院17																						
院18																						
院19																						
院20																						
院21																						
院22																						
院23																						
院11																						
院12																						
院5																						
院2																						
院3																						
院6																						
院8																						
院9																						
院10																						
院11																						
院12																						
院7																						
院13																						
院14																						
院15																						
院8																						

大学院の修了者(30人)
 最大21区分 最小10区分 平均19.8区分

区分別科目の修了状況

指定研修 機関属性	気道 確保	人工 呼吸 療法	長期 呼吸 療法	循環 器	心臓ド レーン	胸腔ド レーン	腹腔ド レーン	ろう孔	CVカ テ	PICC カテ	創傷	創部ド レーン	動脈 血液ガ ス分析	透析	栄養/ 水分 薬剤	感染	血糖	術後 疼痛	循環 動態 薬剤	精神・ 神経 薬剤	皮膚 損傷	
院1																						
院2																						
院3																						
院4																						
院5																						
院6																						
院7																						
院8																						
院9																						
院10																						
院11																						
院12																						
院13																						
院14																						
院15																						
院16																						
院17																						
院18																						
院19																						
院20																						
院21																						
院22																						
院23																						
院24																						
院25																						
院26																						
院27																						
院28																						
院29																						
院30																						
院31																						
院32																						
院33																						
院34																						
院35																						
院36																						
院37																						
院38																						
院39																						
院40																						
院41																						
院42																						
院43																						
院44																						
院45																						
院46																						
院47																						
院48																						
院49																						
院50																						
院51																						
院52																						
院53																						
院54																						
院55																						
院56																						
院57																						
院58																						
院59																						
院60																						
院61																						
院62																						
院63																						
院64																						
院65																						
院66																						
院67																						
院68																						
院69																						
院70																						
院71																						
院72																						
院73																						
院74																						
院75																						
院76																						
院77																						
院78																						
院79																						
院80																						
院81																						
院82																						
院83																						
院84																						
院85																						
院86																						
院87																						
院88																						
院89																						
院90																						
院91																						
院92																						
院93																						
院94																						
院95																						
院96																						
院97																						
院98																						
院99																						
院100																						

認定看護師の修了者(15人) 最大21区分 最小1区分 平均9区分
 うち大学院修了以外の認定看護師修了者(11人) 平均5.4区分

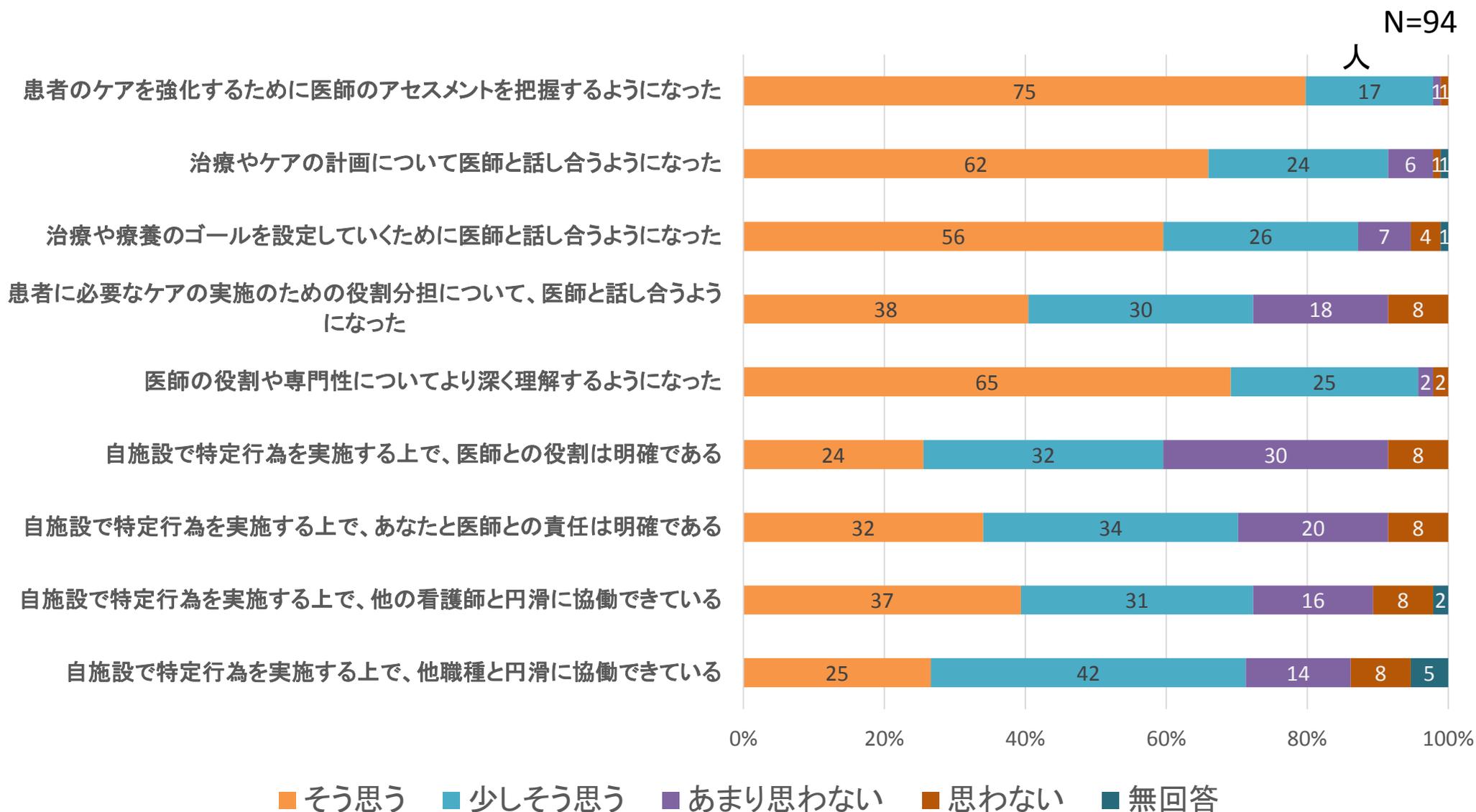
区分別科目の修了状況

指定研修 機関属性	気道 確保	人工呼吸 療法	長期呼吸 療法	循環 器	心臓ド レーン	胸腔ド レーン	腹腔ド レーン	ろう孔	CVカ テ	PICC カテ	創傷	創部ド レーン	動脈 血液ガ ス分析	透析	栄養/ 水分 薬剤	感染	血糖	術後 疼痛	循環 動態 薬剤	精神・ 神経 薬剤	皮膚 損傷		
院1																							
院2																							
院3																							
院4																							
院5																							
院6																							
院7																							
院8																							
院9																							
院10																							
院11																							
院12																							
院13																							
院14																							
院15																							
院16																							
院17																							
院18																							
院19																							
院20																							
院21																							
院22																							
院23																							
院24																							
院25																							
院26																							
院27																							
院28																							
院29																							
院30																							
団1																							
団2																							
団3																							
団4																							
団5																							
団6																							
団7																							
団8																							
団9																							
団10																							
団11																							
団12																							
団13																							
団14																							
団15																							
団16																							
団17																							
団18																							
団19																							
団20																							
団21																							
団22																							
団23																							
団24																							
団25																							
団26																							
団27																							
団28																							
団29																							
団30																							
団31																							
団32																							
団33																							
団34																							
団35																							
団36																							
団37																							
団38																							
団39																							
団40																							
団41																							
団42																							
団43																							
団44																							
団45																							
団46																							
団47																							
団48																							
団49																							
団50																							
団51																							
団52																							
団53																							
団54																							
団55																							
団56																							
団57																							
団58																							

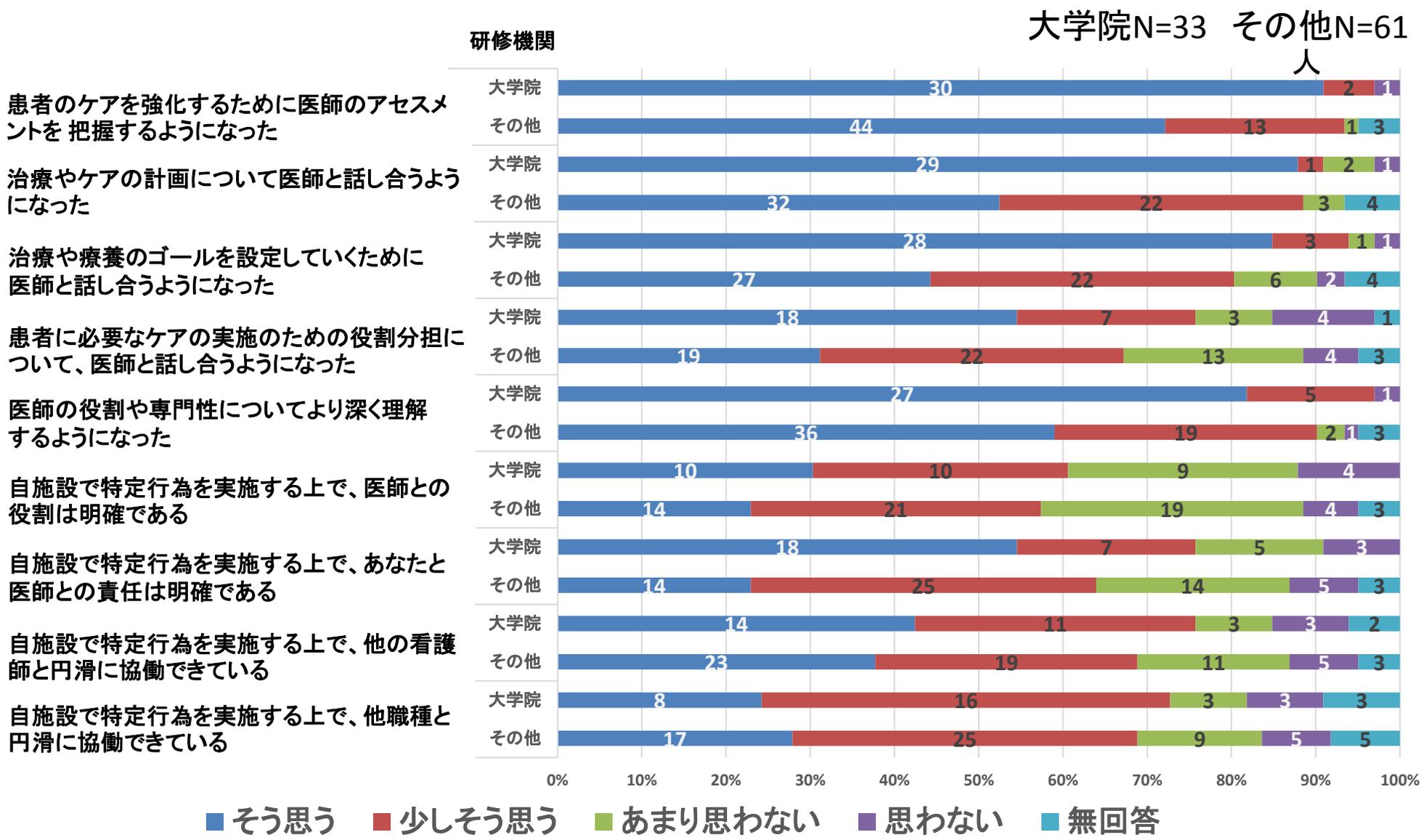
大学院以外の修了者(58人)<研修機関属性未記入者除く>
 最大21区分 最小1区分 平均6.2区分

未実施理由	未実施者数	対象患者なし	%	手順書未作成	%	医師合意不可	%	組織合意不可	%
経口用気管チューブ又経鼻用気管チューブの調整	40	16	40.0	10	25.0	2	5.0	6	15.0
侵襲的陽圧換気の設定の変更	56	26	46.4	18	32.1	2	3.6	5	8.9
非侵襲的陽圧換気の設定の変更	62	31	50.0	17	27.4	2	3.2	6	9.7
人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	63	33	52.4	17	27.0	1	1.6	4	6.3
人工呼吸器からの離脱	61	29	47.5	18	29.5	2	3.3	4	6.6
気管カニューレの交換	39	17	43.6	8	20.5	1	2.6	5	12.8
一時的ペースメーカーの操作及び管理	34	16	47.1	9	26.5	1	2.9	5	14.7
一時的ペースメーカーリードの抜去	32	15	46.9	8	25.0	1	3.1	5	15.6
経皮的心肺補助装置の操作及び管理	35	17	48.6	9	25.7	1	2.9	5	14.3
大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	35	17	48.6	9	25.7	1	2.9	5	14.3
心嚢ドレーンの抜去	30	15	50.0	8	26.7	1	3.3	5	16.7
低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	27	12	44.4	8	29.6	1	3.7	4	14.8
胸腔ドレーンの抜去	23	11	47.8	8	34.8	1	4.3	4	17.4
腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	27	13	48.1	8	29.6	1	3.7	4	14.8
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	29	13	44.8	7	24.1	1	3.4	6	20.7
膀胱ろうカテーテルの交換	35	19	54.3	7	20.0	1	2.9	5	14.3
中心静脈カテーテルの抜去	31	9	29.0	9	29.0	1	3.2	4	12.9
末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	25	11	44.0	9	36.0	1	4.0	3	12.0
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	49	24	49.0	12	24.5	1	2.0	5	10.2
創傷に対する陰圧閉鎖療法	59	31	52.5	11	18.6	2	3.4	6	10.2
創部ドレーンの抜去	27	13	48.1	8	29.6	1	3.7	4	14.8
直接動脈穿刺法による採血	26	4	15.4	11	42.3	2	7.7	5	19.2
橈骨動脈ラインの確保	46	23	50.0	14	30.4	2	4.3	4	8.7
急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	31	15	48.4	8	25.8	1	3.2	7	22.6
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	52	17	32.7	15	28.8	3	5.8	6	11.5
脱水症状に対する輸液による補正	47	14	29.8	14	29.8	3	6.4	5	10.6
感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	45	13	28.9	14	31.1	3	6.7	6	13.3
インスリンの投与量の調整	44	17	38.6	13	29.5	1	2.3	5	11.4
硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	33	17	51.5	9	27.3	1	3.0	4	12.1
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	37	12	32.4	13	35.1	1	2.7	3	8.1
持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	36	12	33.3	13	36.1	1	2.8	3	8.3
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	37	12	32.4	13	35.1	1	2.7	3	8.1
持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	34	9	26.5	13	38.2	1	2.9	3	8.8
持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	38	10	26.3	13	34.2	1	2.6	4	10.5
抗けいれん剤の臨時の投与	55	25	45.5	12	21.8			4	7.3
抗精神病薬の臨時の投与	52	26	50.0	12	23.1			4	7.7
抗不安薬の臨時の投与	52	25	48.1	12	23.1			4	7.7
抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	35	18	51.4	5	14.3			2	5.7

研修修了後のチーム医療の状況

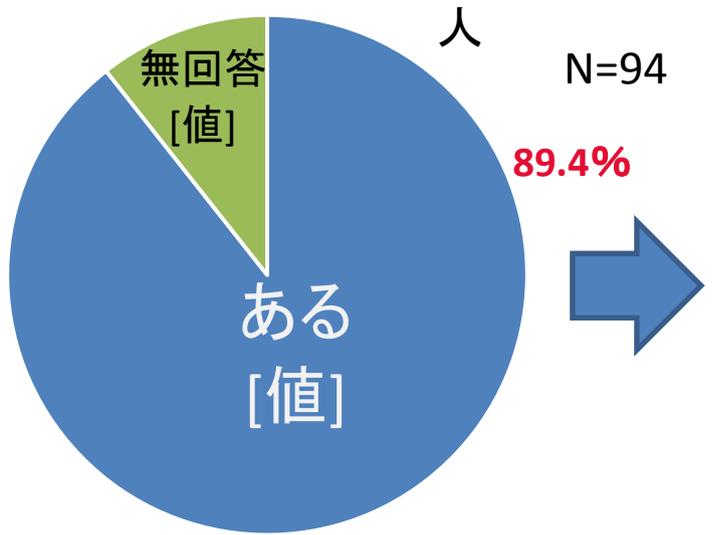


研修修了後のチーム医療の状況(大学院とそれ以外)



特定行為の実施や研修の受講を医療現場で活用する上での課題の有無

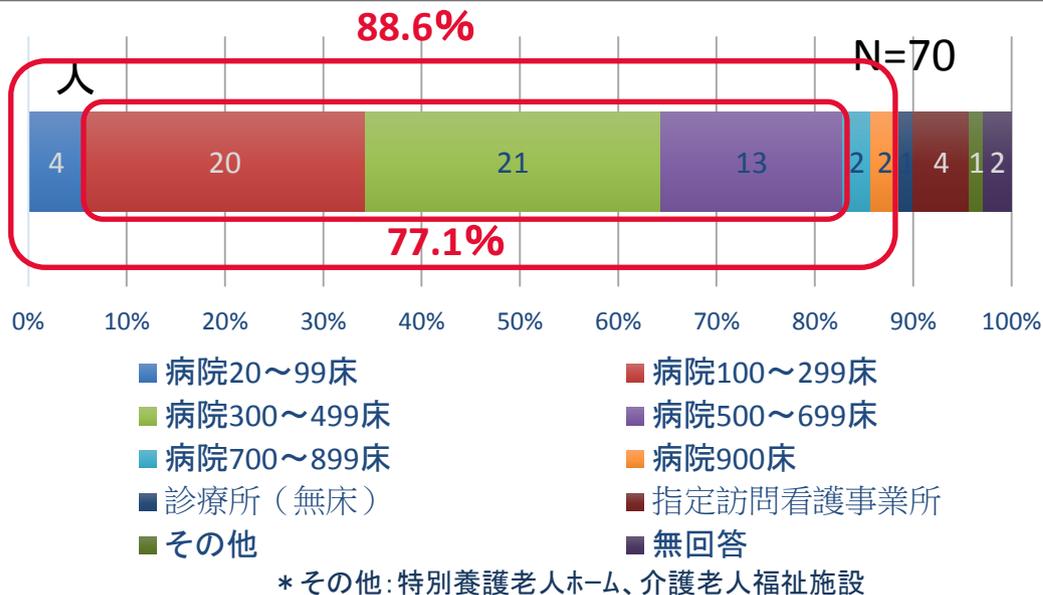
課題の内容(79人の自由記述より)



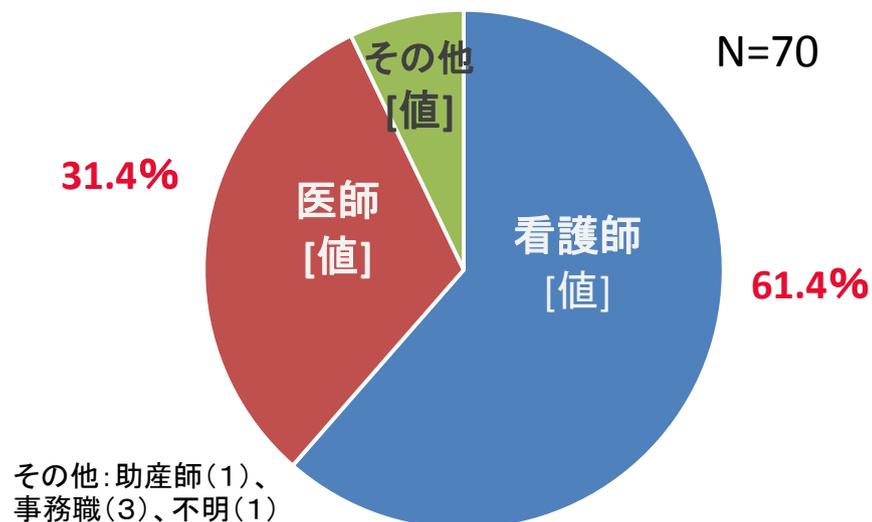
内容	
■ 特定行為研修・修了看護師の周知	
■ 研修修了者が活動に至るための組織的な体制づくり	
■ 修了後のフォロー(研修)の充実	
■ 修了生育成の施設内体制づくり(組織的ビジョン、研修期間の確保)	
■ 所属施設の理解(医師、看護師他)、医師との連携	
■ 手順書の作成・運用が進まない	
■ 権限や責任が明確でない	
■ 在宅では指導する医師がいない	
■ 人手不足で役割を發揮できない	等

特定行為研修修了者が 所属する施設の管理者についての結果

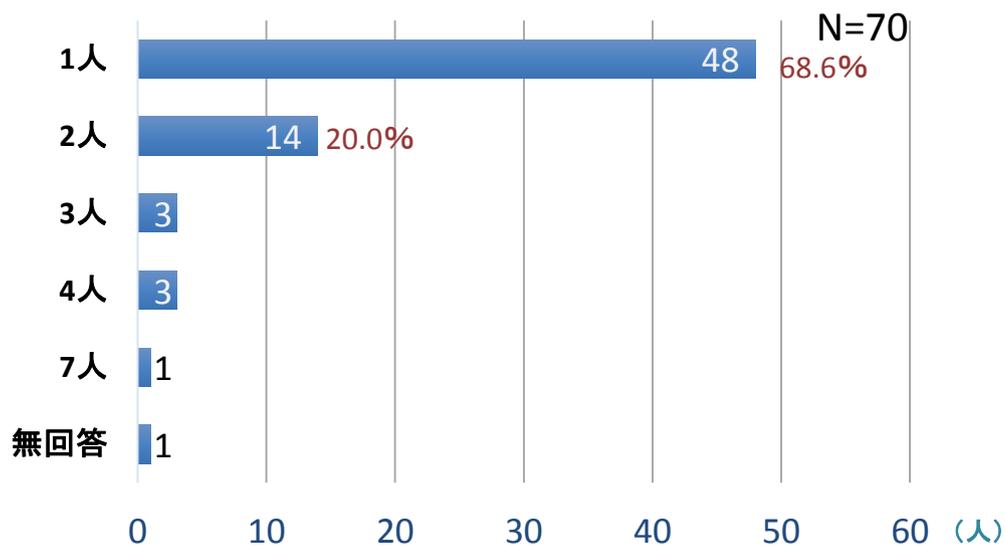
所属施設



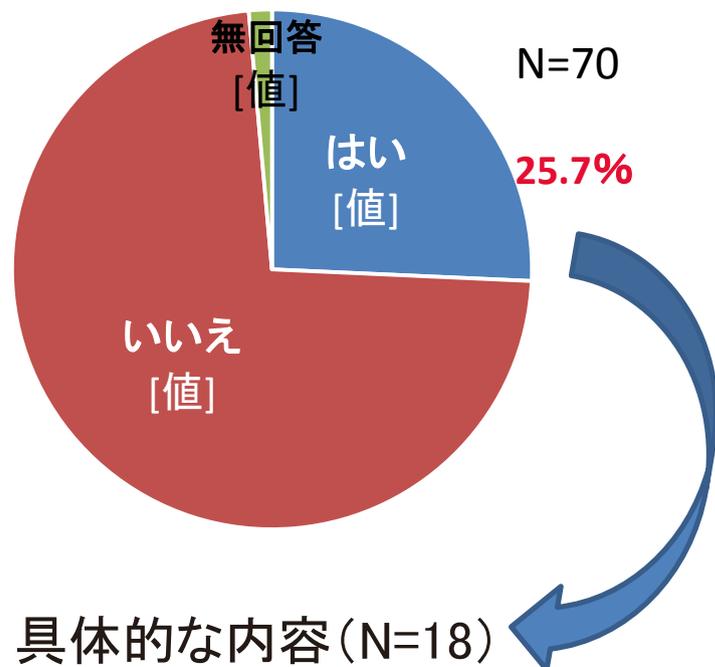
回答者の職種



施設内の特定行為研修修了者数



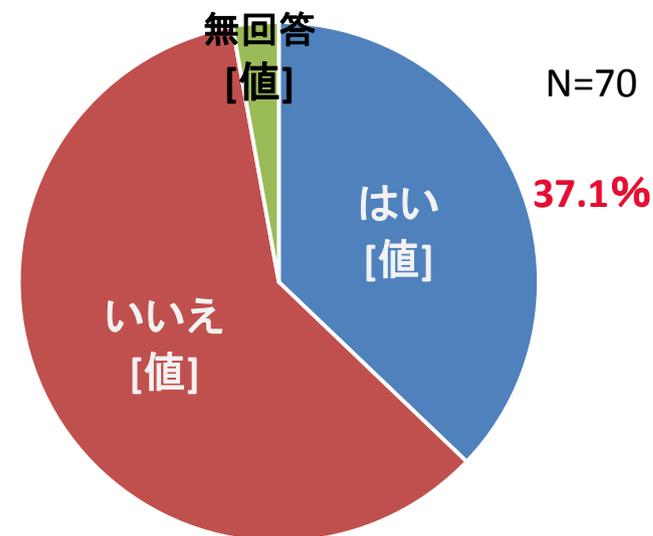
修了者の勤務にあたり 配置形態や組織体制を変えたか



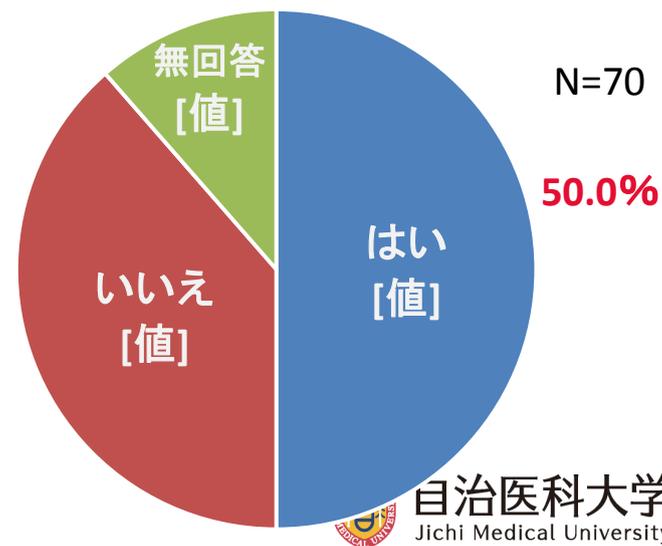
具体的な内容 (N=18)

- ・訪問看護ステーションへ配置(2)
- ・看護部長付け、看護部長直轄の診療看護師チームへ配置(2)
- ・診療部所属とした(2)
- ・労務管理は看護部、修了後2年間は実地研修として診療科をローテーション(2)
- ・看護部所属、輪番制で診療看護師としての活動日を設定、通常はスタッフナースとして勤務(1)
- ・柔軟な勤務体制とした(1)
- ・診療看護師センターの責任者とした(1)
- ・午前は外来、午後は病棟や施設で活動する特別勤務とした(1)
- ・認知症ケア施設でラウンドや相談窓口担当とした(1)
- ・教育研修部署へ配置した(1)
- ・診療部長(医師)と看護部長(看護師)で検討する場をもった、検討した(3)
- ・その他(1)

研修を修了したことによる 修了者の処遇の変更の有無

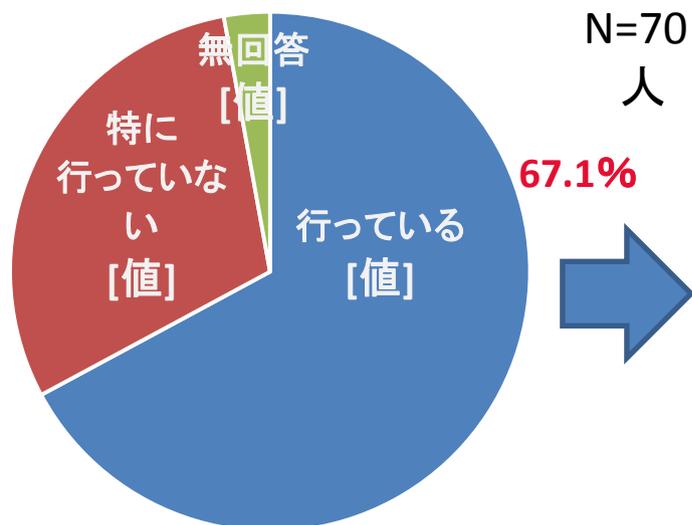


「看護師の特定行為研修制度」の認知度を高めるための取組の有無



修了者が活動するにあたり 何か支援を行っているか

支援の内容(44人の自由記述より)

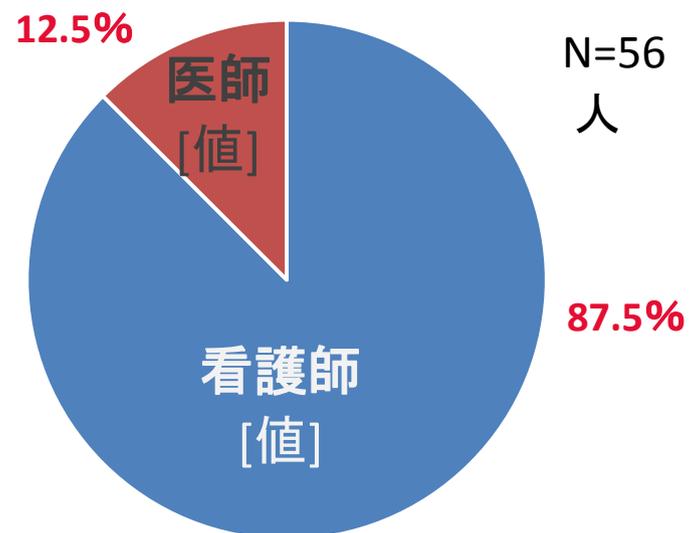
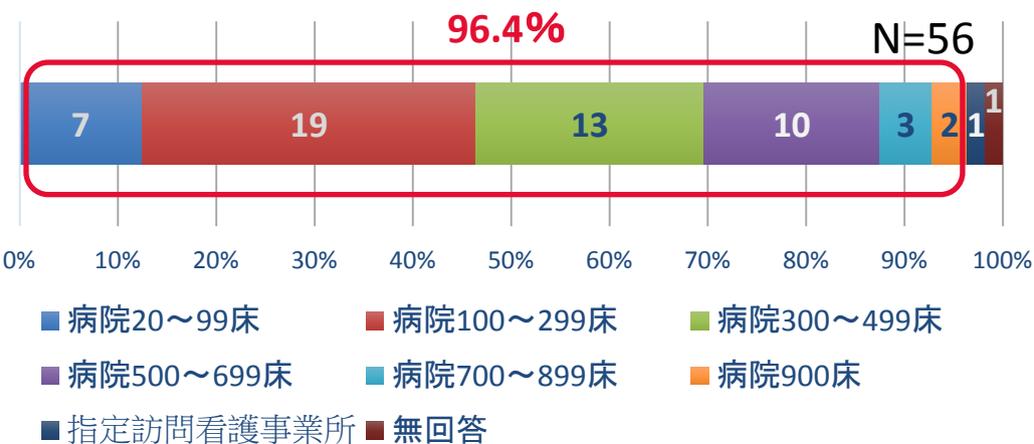


内容
■ 手順書の作成にかかわる組織的支援
■ 修了者の活動について院内周知・活動報告
■ 看護部と診療部との定期的な話し合い
■ 医師との調整(協力要請含む)
■ スキルアップ支援(学会や研修等)
■ 修了者が横断的に動きやすい体制づくり
■ 対象者選定にかかわる支援
■ 業務や活動に関する相談対応
■ 特定行為実施時の支援(見守り等)
■ その他

特定行為研修修了者が 所属する部署の管理者についての結果

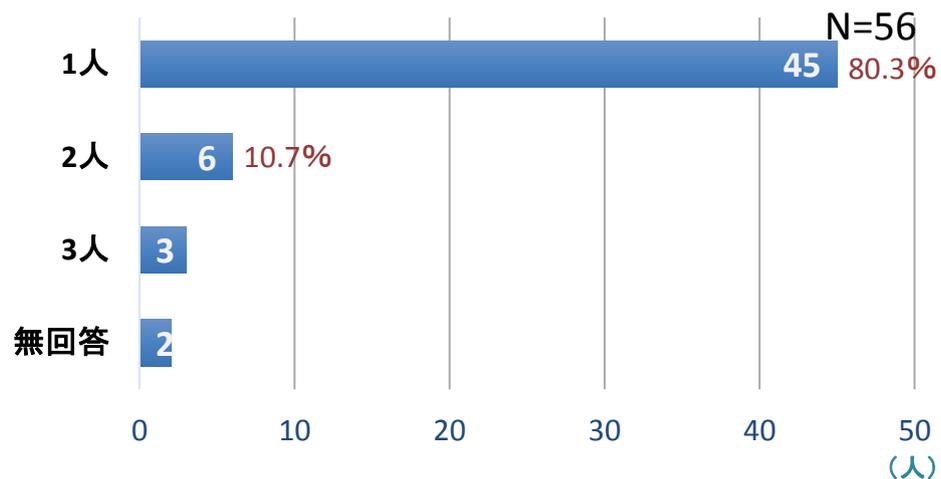
所属施設

回答者の職種



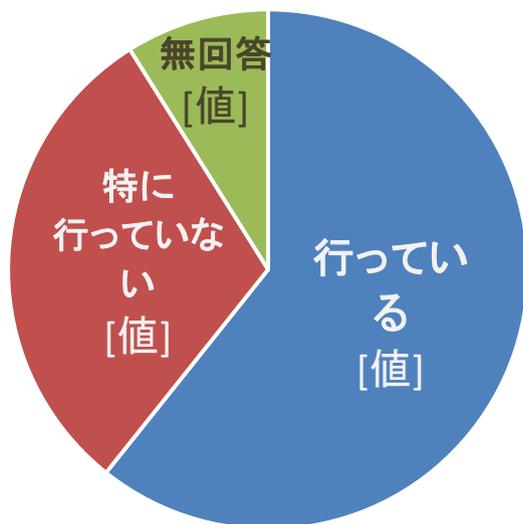
* その他: 特別養護老人ホーム、介護老人福祉施設

施設内の特定行為研修修了者数

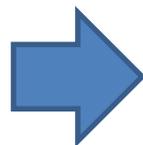


修了者が活動するにあたり 何か支援を行っているか

支援の内容(32人の自由記述より)



N=56
人
60.7%



内容

- 看護部、修了者、医師、他職種、事務等との定期的なカンファレンス・会議・ワーキンググループの設置による問題 共有と改善策の検討、修了者の業務内容・体制の検討とマニュアルづくり(11)
- 手順書作成に関する支援(修了者・医師・管理者によるカンファレンス、意見交換、委員会の設置、等)(9)
- 院内や医局の会議で修了者やその活動(特定行為の実施)を説明(6)
- 修了者と医師との調整支援、医師の協力を得るための支援(6)
- 勤務調整により修了者が活動しやすくする(3)
- 院内での活動調整、労務管理(3)
- 診療科ローテーションの調整、研修後の他部署研修のための調整(2)
- 修了者の相談にのる、悩みや意見の聴取(2)
- 特定行為研修修了者についての地域での広報活動(1)
- 特定行為実施にかかわる同意書の作成と患者等への説明時の支援(1)
- 特定行為実施数の把握(1)
- その他(4)



まとめ

- 本調査に回答した修了者の所属施設は病院が約8割で、うち約7割は100床以上400床未満の病院であった。看護師経験は10～25年未満で約7割を占めていた。
- 受講した指定研修機関は大学院が35%、それ以外が65%だった。
- 過去1か月（調査時）に各特定行為を実施した者の割合は、概ね1～2割であり、3割を超えていたのは「末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入」、4割を超えていたのは「直接動脈穿刺法による採血」、「気管カニューレの交換」であった。
- インシデントは全体で3件のみであり、アクシデントはなかった。
- 未実施理由（過去1か月）は、「対象患者なし」が最も多く、次いで「手順書未作成」である特定行為とその逆であるものがあった。
- 回答した修了者の多くは、研修修了後、医師の専門性の理解や医師とのコミュニケーション、連携が促進されたと認識していた。
- 活動上の課題は、修了者の所属施設内における特定行為研修制度（修了者の活動等含む）の周知、手順書の作成・運用を含む修了者が活動するための組織的な体制づくり、研修修了後のフォロー等があげられた。